

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科		理学療法士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名		日常生活活動学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	16 (1) 時間(単位)
対 象 学 年		1年		学期及び曜時限	後期	教室名	301
担 当 教 員		高田 秀志	実務経験と その関連資格	理学療法士として、回復期病院や訪問リハ、デイサービスでの実務経験あり。 また、島根大学大学院で、地域包括ケアシステムについて学び、医科学修士を修了。			
《授業科目における学習内容》							
日常生活活動(ADL)および手段的日常生活活動(IADL)に関する基本的な知識、分類、評価方法を学ぶ。日常生活における動作能力の獲得・維持・向上に向けた理学療法の視点を理解し、対象者の生活機能を多面的にとらえる力を養う。							
《成績評価の方法と基準》							
課題レポート等で総合的に評価を行う							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
日常生活活動学 医学書院 OWL-P							
《授業外における学習方法》							
教科書や配布資料を用いて予習・復習を行う							
《履修に当たっての留意点》							
授業の 方法		内 容				使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第 1 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	基本的生活動作と手段的活動の違いと意味を説明できる			配布資料	配布資料を用いて講義 内容の箇所を読んでお く。
		各コマに おける 授業予定	ADL/IADLの定義・分類・意義				
第 2 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	各基本動作の特徴と評価視点を理解できる			配布資料	配布資料を用いて講義 内容の箇所を読んでお く。
		各コマに おける 授業予定	移動・更衣・排泄・整容				
第 3 回	講 義 演 習 形 式	授業を 通じての 到達目標	各動作の動作構成と障害時の代償手段を説明できる			配布資料	配布資料を用いて講義 内容の箇所を読んでお く。
		各コマに おける 授業予定	食事・入浴・起居動作				
第 4 回	講 義 演 習 形 式	授業を 通じての 到達目標	IADLの社会的・認知的側面の重要性を理解できる			配布資料	配布資料を用いて講義 内容の箇所を読んでお く。
		各コマに おける 授業予定	買い物・調理・金銭管理・交通機関利用				
第 5 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	標準的な評価法の目的・特徴・採点方法を説明できる				配布資料を用いて講義

5 回	俱 習 形 式	各コマに おける 授業予定	Barthel Indexの概要	配布資料	内容の箇所を読んでおく。
--------	------------------	---------------------	------------------	------	--------------

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第 6 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	標準的な評価法の目的・特徴・採点方法を説明できる	配布資料	配布資料を用いて講義 内容の箇所を読んでおく。
		各コマに おける 授業予定	FIMの概要		
第 7 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	多面的な評価視点を理解し、評価票の使い方を習得できる	配布資料	配布資料を用いて講義 内容の箇所を読んでおく。
		各コマに おける 授業予定	Lawton IADL・生活機能評価・観察法		
第 8 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	評価から支援・指導へつなげる思考プロセスを身につける	配布資料	配布資料を用いて講義 内容の箇所を読んでおく。
		各コマに おける 授業予定	具体的な事例をもとに動作分析と支援法を考察		